

# 明治末期・大正期における中等教育と学生野球 ～千葉県立成東高等学校の事例～

## Secondary education and student baseball in the late Meiji and Taisho Era : The case of Chiba Prefectural Naruto High School

1K03B018-9 石木 健

指導教員 主査 石井昌幸 先生 副査 作野誠一 先生

### 序章

本研究は、高校野球の黎明期である明治末期・大正期に学生野球がわが国にどのように広まっていったのかを、地方史レベルから明らかにしようとするものである。周知のとおり学生野球は旧制一高や早慶といった高等教育機関を中心にわが国にもたらされた。野球は、ほどなくして地方へも波及したが、その際、地方の中学における野球受容はどのように進んであろうか。この問題についてはすでに、いくつかの地方スポーツ史研究のなかに言及が見られるものの、千葉県に関してはいまだ十分な研究がなされていない。そこで本研究では特に、明治33年に創立された千葉県立佐倉中学校成東分校（現千葉県立成東高等学校）を取り上げることにする。同校は、東京近郊に位置し、当時依然として地方的特色を色濃く有したと同時に、中央との直接的な交流も見られた。このいわば「半周縁」地域から、学生野球史を見直そうとするところに本研究の特色がある。

史料としては主に、成東高等学校の「校史」、創立百周年記念誌の「九陵百年」、野球部史の「九十九球史」に記載されている当時の校友会誌「九十九会会誌」を基に当時の野球部の活動を考察する。

### 第1章

第1章では中学野球拡大の前提としての中等教育拡大について述べるとともに、当時の学校体育の状況について述べる。明治末期・大正期は初等教育が一般市民へと普及し、次いで中等教育の普及が見られる時期であった。中等教育は将来のリーダーとしての役割を担う若者を育成する機関であり、その上部の高等教育の影響も多く受けていた。学校体育に関しては、体育の概念がいまだ模索されている状況だったが、スポーツも体育や武道と同様に、教育的価値を期待されて学校において行なわれることとなった。

### 第2章

第2章では、千葉県立成東中学校設立の背景と野球部の活動を扱う。成東中学は明治32年の中学校令改正とともに創立された中学校である。この時期の都市は東京などの一部に過ぎず、その多くは成東のような地方の農村が一般的であった。このような地方の農村において、明治35年に創部された成東中学野球部の創部から大正期にかけての活動を、当時の地域の状況や、生徒像を踏まえながら明らかにする。

成東中学は地方の一中学であったが野球人気は高く、明治41年には千葉県立佐倉中学校との対校試合において、両校の応援団同士の乱闘騒ぎを起こすと、その後の千葉県内の対校試合禁止、中学野球の低迷を招いた。

千葉県内は明治30年代の大量創部―対校試合の始まり―野球熱の過熱―野球弊害の表面化というプロセスを経て、成東中学にみる乱闘騒ぎに発展した。また、その背景には野球熱の高まりだけでなく、当時の地域の荒々しい気風や、学校の代表としての役割を、野球部を始め、運動部が担っていたことなどの要因が複雑に絡んでいた。

そして県内の対校試合が禁止される明治42年から大正10年頃までの期間が、中学野球に対する反省期となり、武士道や精神修養、学校の規範といった要素を野球に組み込むことにより、野球の存在を保守していくこととなった。

### 第3章

第3章では学生野球の人気の高まりと共に生じた「野球弊害論」、その後、現在の「甲子園大会」の前身である全国中等学校優勝野球大会が開催される経緯を考察し、学生野球人気の大衆化への流れを追う。

明治44年に東京朝日新聞に「野球害毒論」の特集が組まれ、その4年後の大正4年に初の全国大会が大阪朝日新聞主催で開催された。この時期は学生野球の反省期となり、盛んに批判されてきた野球の弊害を改善することによって、教育界や一般社会に容認させ、野球人気の大衆化へとつながった。同時に野球人気を利用し、国民の模範としての役割が中学野球に注入されていくこととなる。

一方で、地方大会・全国大会により、勝つ目的が明確となり、勝利をより強く求めるようになると、それに伴う弊害も現れていた。このように未だ「弊害」も残るなど課題も残されていた。

### 終章

成東中学に見られるように、中央の高等教育を模範としながらも、当時の地方に特徴的な気風が野球部に影響を与えた。そして明治末期から言われてきた弊害から脱却するため、次第に武士道や精神修養、学校・生徒の模範としての性格を帯びるようになっていった。

今回は千葉県という東京近郊の地域について調査したが、今後は同時期の他の地域、特に中央から遠方の地域で行なわれた中学野球と比較することで、現在の高校野球人気の源流をより鮮明に解き明かすことにつながるだろう。